

校長室だより

学校教育目標「学びを生かす子供」

八代市立龍峯小学校

校長 村嶋 博史



R3,6,22

NO,11

税について学んだ「租税教室」(6年)

6月14日(月)、6年生は「租税教室」に参加しました。当日は、講師として八代総合庁舎と八代税務署からお二方をお招きしました。お二方の大変詳しく丁寧な説明に、子供たちは楽しく真剣に学んでいました。税の仕組みや納税の大切さなどについて多くの学びがあったことと思います。将来の生活に生かしてほしいと思います。



真剣に学び、質問に答えている児童

全校集会で「自律」について話しました

6月17日(木)の始業前の時間に行った全校集会で、子供たちに「自律」(節度を保つ)を「自分の心に線を引く」というイメージの力を借りて話しました。下は、その内容の一部です。

何回叱られても、人に迷惑をかけてしまう子供や、叱られないときちんとできない子供がいますよね。そういう子供は、「自分で線を引く」ということができないんです。この辺まではよいとか、ここからはダメとかいう「線引き」が、自分でできないんです。だから、いつも誰か他の人に、「ガツン」と言われないと、つつい線を越えてしまうんです。誰か他の人に線を引いてもらわないと、越えてしまうんです。

世の中には、線は引かれていないけど、色々な物事に対して、越えてはいけない線があると思います。例えば、「人に嫌なことを言ったりしたりする」「陰口やうわさ話をする」「遊びの中で自分一人で楽しもうとする」「挨拶や返事を人によって言ったり、言わなかったりする」「多くの人を利用する所で走ったり、騒いだりする」「自転車にノーヘルで乗ったり、一旦停止をしなかったりする」など、全部越えてはいけない線ですよ。

しかし、この心の線を自分ではなかなか引けない人がいますよね。幼い子供は仕方ありません。そこで叱られて、だんだん自分で、こういうときはこの辺が線なんだと学んでいる最中ですから。しかし、小学生になってもそれじゃ、幼い子と変わらないということだから、ちょっとはずかしいですよ。

自分が発する言葉や行動については、「自分で線を引ける」のが小学生です。そして、それが「自律」ということになります。

最近、つつい越えてしまっている線や越えそうになってる線はありませんか、思い浮かべてみましょう。そして、これからは絶対に線を越えないように心がけて行動しましょう。

自分の心に線を引く

このカードを各学級に設置し、指導に活用

今後、子供たちが、自分の言動に、自分の心に自分で線が引けるように、職員一同で「今のは線ギリギリだよ」とか「今のは線を越えていないか？」などと声かけをしながら、「自律」の意識を高めていきます。ご家庭でも同様に、「心の線」を意識する声かけをしてください。